

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。  
もうすぐ啓蟄ですね。虫たちが目覚めるといよいよ春を感じますが、寒さはお水取りが終わるまでは油断なりませんね。

私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、  
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 ばあく（五條市）取材しました

■ 1 ■ ばあく（五條市）取材しました

2月11日気持ちの良いお天気の中、五條市のばあく 泉澤さんを訪ねました。

泉澤さんご夫婦は約40年前、大阪でのサラリーマン生活からご長男が生まれたのを機にUターンして豚の飼育を始められたそうです。はじめは育てた豚を精肉として出荷するのとは別に、ご近所の希望者にブロックで分けていたそうですが、そのままでは調理しにくいという声が多くハム・ベーコンに加工することを思い立ちます。はじめは塩加減も分からず、すごく辛いものが出来上がってしまったり、もとの豚肉より完成したベーコンは3割も体積が小さくなるということに気づいていなかったため、しっかり価格計算をしたはずなのに赤字になってしまったり・・・試行錯誤も楽しむ「遊び心」を持つことで、完成までこぎつけることができたそうです。今ではばあくのハムやベーコンは大人気商品となっています。

泉澤さんの多岐にわたる活動は、すべて人とのつながりで広がってきたそうです。母親仲間、農薬や添加物を使わないで作った美味しいものを食べてくれる仲間、奈良の食文化を研究する仲間、地域循環のネットワークを組む仲間、グリーンツーリズムで農家体験をしてもらおうと集まった女性起業家仲間、「奈良にうまいものなし」を返上しようと集まった食にまつわる様々な商売人仲間・・・人の循

環やものの循環が地域を元気にすることを目の当たりにしてきた泉澤さんは、次の世代にバトンタッチできるように、食糧基地になれるように、地域自給を目指しています。そして給食へも、4Hクラブを通して豚肉を納入できるようになり、一昨年は2回、昨年は5~6回豚肉を納入したそうです。スタッフのお子さんが給食ではあくの豚肉を食べ「せっかくの美味しいお肉なのに、カレーだったからお肉の味があまり分からずもったいなかった」と献立に注文をつけたこともあったとか（笑）。やはりどこの誰が、どんな思いで作ったのか分かっているものを食べることは、その食材への向き合い方が全く違ってくるんだなと思いました。

地域の生産物を給食に取り入れるには、やる気のある人が適材適所にいることや、数を揃えたり、足りないときの代替の手配など、中間でお世話をする人の存在が必要不可欠だとお話しくださいました。農家のシステムと、給食や行政のシステムをすりあわせるには時間も手間もかかります。小さく始めてステップを1つずつのぼる、1段上ってみないと見えないことがあるので、そうやって1段1段進んでいくしかないのでは、とアドバイスいただきました。また、団塊の世代が戻ってきて就農するケースが増えているので生産者は増えていく一方で、少子化で子どもの数が減っているため給食に必要な食材数は減っていくとしたら、量の問題に関していえば今後は地元の生産物を給食に取り入れやすくなっていくのではないかと、この視点もいただきました。

現場に立ち、実際に生き物を育てるということは「思い」だけでは立ちゆきません。消費者も生産の現場を知ること、つまり、共通の情報や共通の夢を持って同じ土俵に立って話すことで、理解できることも実現できることも増えていくのではないかと泉澤さんは話します。だから泉澤さんは、野菜の宅配をしていた頃は、お客さんに定期的な援農を「義務」づけて、畑や野菜作りの現場を知ってもらった上で野菜を食べてもらうことを大切にしていたそうです。また、豚肉についても、解体を骨抜きからみてもらって、焼き肉で食べてもらったり、お肉を購入してもらえるイベントを開催し、心も頭も腹も納得してもらえる関係づくりを目指しているそうです。ちゃんと理解して、本当に安全な食べ物を手に入れられるように消費者自身が知識と知恵を身につけることも必要です。

様々な視点からのお話、夢を実現するために現実的に解決しないといけない問題は何かと冷静に分析するご指摘など、たくさんの刺激をいただきました。ありがとうございました。

---

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

(メルマガのバックナンバーも順次掲載しています)

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)

---